



2016年6月2日は「世界摂食障害行動の日」

今年(2016年)6月2日に、「世界摂食障害行動の日 (World Eating Disorders Action Day)」が初めて催されます。この日は摂食障害に苦しむ人たち、その家族、そして専門家、研究者、政策担当者への呼びかけで開催され、この病に関する社会的誤解を一掃して、正しい知識を啓発し、適切な政策提言をします。

摂食障害は深刻かつ複雑な病で、遺伝的、生物学的、そして環境的な要素が絡み合って起因するものです。現在、摂食障害に侵されている人の数は7000万人に上ると言われ、若い女性だけではなく性別、年齢、人種や国籍、社会的地位に関わらず多くの人とその家族がこの病と闘っています。医療研究・技術の向上により、完治の可能性は高くなっているものの、まだ多くの患者が治療を受けず、精神疾患という区分の中では摂食障害は最も高い死亡率を記録しています。

「摂食障害に関する9つの真実 (Nine Truths about Eating Disorders)」の発表に併せて、よりいっそうこの病に対する意識を高めるために、この度、世界摂食障害行動の日を立ち上げる事となりました。

インターナショナル イーティング ディスオーダー アクション デーの創立者の一人であるエイミー・カニングハム氏によれば、初めてとなる「世界摂食障害行動の日」はこの病は誰でも侵されてしまう可能性があり、世界的に早急な対策が必要である事を強く伝えるだけではなく、効果的な治療法がある事も啓発できるとしています。

インターネットを通じた活動、並びに個々の国における行動を通じて、「世界摂食障害行動の日」は世界で多くの人々を苦しめているこの病気が治療可能であるという事を浸透させ、かつ国レベルでの指針と対策を打ち出すよう提言をします。さらに、「世界摂食障害行動の日」は、新たな結びつきやパートナーシップを築き、今後の国際レベルでの活動、そして政策提言の足場を広げます。

「世界摂食障害行動の日」実行委員会:

Academy for Eating Disorders, Author June Alexander, Beating Eating Disorders, BingeBehavior.com, Eating Disorders Parent Support, Elephant in the Room Foundation, Families Empowered and Supporting Treatment of Eating Disorders/F.E.A.S.T, International Eating Disorders Action, Nalgona Positivity Pride, National Association of Males with Eating Disorders, National Eating Disorders Association, Not All Black Girls Know How to Eat, ReGlamME and Trans Folx Fighting Eating Disorders.

連絡先:

ホームページ: www.worldeatingdisordersday.org

Facebook: WorldEatingDisorderDay

Twitter: WorldEDday and #WeDoAct

Email: WorldEatingDisorderDay@gmail.com

####